



〈実践研究報告〉ラーニングコモンズが持つ機能と学習活動の結びつきに関する研究

著者	時任 隼平, 巳波 弘佳, 藤井 恭子, 坂口 将太, 中野 由美子, 石橋 将広, 大田 詠子, 明賀 豪, 佐永 田 千尋
雑誌名	関西学院大学高等教育研究
号	9
ページ	53-59
発行年	2019-03-22
URL	http://hdl.handle.net/10236/00027644

ラーニングコモンズが持つ機能と 学習活動の結びつきに関する研究

時 任 隼 平 (高等教育推進センター・研究代表者)
巳 波 弘 佳 (理工学部)
藤 井 恭 子 (教育学部)
坂 口 将 太 (聖和短期大学)
中 野 由美子 (高等教育推進センター)
石 橋 将 広 (教務機構事務部)
大 田 詠 子 (聖和キャンパス事務室)
明 賀 豪 (神戸三田キャンパス事務室)
佐永田 千 尋 (人事部人事課)

要 旨

本研究は、高等教育におけるラーニングコモンズと学生の学習活動の結びつきに着目し、実態調査に基づき考察を行った。関西学院大学上ヶ原キャンパス、聖和キャンパス、神戸三田キャンパスの教職員で研究グループを作り、各々のキャンパスに設置された3つのラーニングコモンズにおいて聞き取り調査を実施し実態を整理した。対象は、上ヶ原キャンパスのH号館2階ラーニングコモンズ、聖和キャンパス「リプラ」、神戸三田キャンパス「アカデミックコモンズ」を選定した。

その結果、本学においては、全てのキャンパスにおいて正課外よりも正課の授業に関する活動を目的とした学生が多いことが明らかになった。また、グループ利用のみならず個人利用を目的とした学生も一定数おり、神戸三田キャンパスを除くキャンパスでは個人利用の方が多くことが明らかとなった。グループで利用している学生に関しては、それぞれが別の課題に取り組むのではなく、共通の課題に取り組む事、すなわち協同を目的としている可能性が示唆された。利用目的はキャンパスによって状況が異なるものの、総じて実学・演習系の授業を受けている学生の利用が多いことが明らかになった。また、PC利用に関しては上ヶ原キャンパスと聖和キャンパスは貸し出しが多く、神戸三田に関しては持ち込みが多いことが明らかになった。

1. 本研究実施の背景

「学生によるラーニングコモンズの利用は、学生の正課の学びに繋がっているのか？」これが、本研究を実施するにあたり調査者が設定した問いである。

関西学院大学の各キャンパスには、上ヶ原はラーニングコモンズがH号館と中央講堂の2箇所に位置し、聖和キャンパスは2号館にリブラ、また神戸三田キャンパスにはアカデミックコモンズが開室している。それぞれのラーニングコモンズには設置のコンセプトが設定されている。上ヶ原キャンパスは「学生の自主的な学習の場」、聖和キャンパスは「仲間と『集まる』、交流のなかでアイデアを『練り上げる』、それを実際に『やってみる』という3つのアクションを連動・展開させ、『学び』をともに探究する空間」、そして神戸三田キャンパスは「『学習』と『憩い』と『学生活動』の融合」で、各コンセプトに基づいて目標設定・運営・改善が毎年なされている。

それでは、一体関西学院大学の学生はラーニングコモンズをどのように使い、そこでの利用が正課の学習にどのように繋がっているのだろうか。また、他大学ではどのようにしてラーニングコモンズの利用と学習の繋がりを把握しているのだろうか。2006年に米澤誠氏が日本で初めてラーニング・コモンズを紹介して以降（加藤・小山 2012）、約12年が経った。市村ら（2018）による、ラーニングコモンズの物理的環境の利用経験と創造性課題の成績の関連性に関する研究や、山本ら（2017）によるラーニングコモンズを活用した正課外活動の取り組みを通じた共同体意識や責任感の醸成に関する研究など、徐々にラーニングコモンズの利用と学生の学びを結びつけた分析は増加してきていると言える。

しかしながら、山内（2011）が指摘するような「ラーニングコモンズと学習支援」はこれまで継続的に議論されてきたものの、実際には加藤・小山（2012）が行なったような世界的な動向や設置年度や整備方法、面積、コンピュータ台数などインフラに関する調査を中心に、ラーニングコモンズ研究の基礎的な研究が中心となっているのが現状である。

これらの背景から、本研究では上記のラーニングコモンズ研究の一助になることを目指し、関西学院大学の3つのラーニングコモンズにおける実際の利用方法と正課の学習との繋がりに着目した。以下が、本研究の目的である。

3つのキャンパスのラーニングコモンズ利用者の利用方法と利用の理由（正課の授業との繋がりを）を明らかにする

2. 研究の方法

上ヶ原キャンパスH号館ラーニングコモンズ、聖和キャンパス「リブラ」、神戸三田キャンパス「アカデミックコモンズ」を対象とした。調査期間は2017年11月27日～12月1日の平日5日間と、12月4日～8日の平日5日間の計10日間とし、全キャンパスで同時に実施した。

調査者が調査期間中ラーニングコモンズで待機し、利用者を観察・聞き取りを行った。具体的には、下記項目について観察と簡易聞き取りを行い、観察用紙に記入した（観察用紙は p. 59 を参照）。

聞き取り項目

- (1) 所属・学部等・学年
- (2) 正課／正課外
- (3) 利用人数（1人で利用、2人で利用等）
- (4) 利用形態（皆で別々の内容に取り組んでいる、皆で共通の内容に取り組んでいる等）
- (5) 取り組んでいる内容（授業名、実際に取り組んでいる内容：宿題、レポート準備等）
- (6) 利用機材（無し、貸出PC、貸出タブレット等）

3. 分析の結果

(1) 学部別利用者数と学年別利用者数

表1と表2は、それぞれ各キャンパスの学部別・学年別利用者数を表している。聖和キャンパス及び神戸三田キャンパスは教育学部と理工学部・総合政策学部の学生が中心となって利用しており、上ケ原キャンパスに関しては比較的H号館に近い学部の学生が利用していると考えられる。

特徴的なのは、神戸三田キャンパスは1、2年生の利用者数が中心となっており、3～4年生の利用者数と大きな差があることである。

(2) 正課・正課外の利用者数

表3は、学生の利用目的を正課・正課外で区分したものである。ここでも、特徴的なのは上ケ原キャンパスと聖和キャンパスに関しては正課の活動を目的とした利用者数が正課外よりも圧倒的に多いことである。神戸三田キャンパスは他キャンパスほどではないが、正課の活動を目的とした利用者数の方が多かった。

表1 学部別利用者数

キャンパス	法	経	商	社	文	神	人	国	理	教	総	不明
上ケ原	113	160	327	245	85	0	11	11	2	4	9	12
聖和	1	0	0	0	0	0	0	0	1	632	0	81
神戸三田	0	0	1	0	0	0	0	0	883	0	787	5

表2 学年別利用者数

キャンパス	1年	2年	3年	4年	M1	M2	その他	不明
上ケ原	204	180	386	199	0	2	1	7
聖和	301	114	97	200	1	0	1	1
神戸三田	823	562	161	72	7	3	3	2

表3 利用目的の正課と正課外の区分

キャンパス	正課	正課外	合計
上ケ原	719	260	979
聖和	544	171	715
神戸三田	890	786	1676

表4 グループ利用者数と人数、個人利用者の数

キャンパス	グループ数	グループ内人数	個人数
上ヶ原	293	412	307
聖和	139	161	427
神戸三田	293	718	172

表5 グループ内の利用目的

キャンパス	一部共通	皆で共通	皆で別々	不明
上ヶ原	5	407	0	0
聖和	0	216	0	0
神戸三田	0	493	8	122

表6 利用目的

キャンパス	テスト勉強	課題	資料作成	授業準備	実習準備	進級論文	卒業論文	予習・復習	調査・研究・分析	不明
上ヶ原	12	84	99	240	0	0	112	54	87	31
聖和	104	77	61	56	74	0	145	20	6	1
神戸三田	126	321	79	205	0	13	53	61	16	0

(3) 利用形態（グループ／個人）

表4は、グループ利用者数と人数、個人で利用している学生の数を表したものである。上ヶ原キャンパスと聖和キャンパスはグループ利用（グループ数）よりも個人利用数の方が多いのに対し、神戸三田キャンパスはグループ利用（グループ数）の方が多いことが特徴であると言える。

(4) グループ内利用目的

表5は、グループ利用者を対象に、グループメンバーが「皆で別々の内容に取り組んでいるのか」「皆で共通の内容に取り組んでいるのか」「一部の人が共通の内容に取り組んでいるのか」を尋ねた回答である。全キャンパスにおいて「全員が共通の事に取り組んでいる」数が最も多いことがわかる。このことから、グループ活動を目的としたラーニングコモンズにおいては、他者との協同や議論を目的とした利用が多いと考えられる。

(5) 利用目的

表6は、利用目的に関する聞き取りを行い、その結果を分類したものである。項目は調査者側が予め設定したのではなく、回答者の回答を内容ごとに分類して生成した。項目の内容に重複している箇所がある可能性は否めないが、全体の傾向として上ヶ原キャンパスは授業準備や予習・復習など日々の授業に関する取り組みが多い。聖和キャンパスの場合はテスト勉強や卒業論文への取り組みを目的とした利用が多い。神戸三田キャンパスに関しては、課題（宿題）が最も多い事がわかった。

表7 授業の形態とラーニングコモンズの利用目的

キャンパス	座学	実学・演習	ゼミ	語学	不明
上ヶ原	51	124	465	68	11
聖和	144	268	0	116	0
神戸三田	146	382	53	248	847

表8 PC利用

キャンパス	持ち込み	貸PC	併用
上ヶ原	66	396	6
聖和	5	136	0
神戸三田	66	56	2

(6) 利用目的の授業

表7は、ラーニングコモンズの利用目的に繋がった授業の基本形態を示したものである。全キャンパスにおいて、座学よりも実学・演習系の授業に関する利用目的が最も多いことがわかる。

(7) PC利用

表8は、PC利用を「持ち込み」と「貸し出しPC」、「併用」の3区分で整理したものである。上ヶ原キャンパスと聖和キャンパスは持ち込みPCよりも貸し出しPCが多く、神戸三田キャンパスに関しては持ち込みPCの方が多くなることが明らかになった。

4. 調査結果のまとめと課題

本調査の結果、関西学院大学のラーニングコモンズにおけるより具体的な利用実態が明らかになった。本学においては、全てのキャンパスにおいて正課外よりも正課の授業に関する活動を目的とした学生が多いことが明らかになった。また、グループ利用のみならず個人利用を目的とした学生も一定数おり、神戸三田キャンパスを除くキャンパスでは個人利用の方が多くなることが明らかとなった。グループで利用している学生に関しては、それぞれが別の課題に取り組むのではなく、共通の課題に取り組む事、すなわち協同を目的としている可能性が示唆された。利用目的はキャンパスによって状況が異なるものの、総じて実学・演習系の授業を受けている学生の利用が多いことが明らかになった。また、PC利用に関しては上ヶ原キャンパスと聖和キャンパスは貸し出しが多く、神戸三田に関しては持ち込みが多いことが明らかになった。

最後に、本研究の課題について述べる。本研究は、観察と聞き取り調査を通してラーニングコモンズの利用形態と学習活動の繋がりを明らかにすることを目的としているものの、「学習活動」に関するデータ収集に関しては実際に調査を実施することによって課題が浮き彫りになったと言える。第一に、表6の「テスト勉強」や「課題」、「資料作成」といった区分の定義が不明瞭な点である。本調査では、回答者の負担への配慮から、聞き取りの際の回答で用いた言葉をそのまま分析に用いた。つまり、テスト勉強のための資料作成だったとしても、回答者がそれを「資料作成」とだけ回答した場合は「資料作成」として入力した。これは、その他の項目についても同様である。第二に、表7の授業形態においても、定義が不十分である点である。昨今の教育改革の

流れの中で、例えば座学を中心にしつつも、適宜実習や演習形式の活動を取り込む授業が増えてきている。本調査では、そういった事への配慮なしにデータを収集してしまっている。

謝辞

本研究は、関西学院大学高等教育推進センター2017年度指定研究の助成を受けて実施されました。感謝いたします。

参考文献

- 加藤信哉, 小山憲司 (2012) ラーニング・コモンズ—大学図書館の新しい形—, 勁草書房
- 中谷良規, 山本良太, 森秀樹 (2016) 学生の自主的な活動を促すアカデミックコモンズのデザイン, 関西学院大学高等教育研究, 6 : 133-149
- 市村賢士郎, 河村悠太, 高橋雄介, 楠見孝 (2018) ラーニングコモンズ的环境要因と創造性課題の成績との関連, 日本教育工学会論文誌 (2018) : 55-64
- 足立佳菜 (2017) 学習支援と協働学習—東北大学 Student Learning Adviser の事例を踏まえて—, 東北大学高度教養教育・学生支援機構紀要, 3 : 27-40
- 山本良太, 中谷良規, 明賀豪, 巳波弘佳, 飯田健司, 厚木勝之, 山内祐平 (2017) ラーニングコモンズでの主体的学習活動への参加プロセスの分析, 日本教育工学会論文誌, 40(4) : 301-314.
- 山内祐平 (2011) ラーニングコモンズと学習支援〈特集〉ラーニングコモンズと利用者サポート, 情報の科学と技術, 61(12) : 478-482

ラーニングコモンズ実態調査記録用紙

ラーニングコモンズ実態調査観察記録用紙																			
記録日時	記録担当者																		
2017年 月 日	<input type="checkbox"/> 三田 AC <input type="checkbox"/> 上ヶ原 H 館 <input type="checkbox"/> 上ヶ原中央 <input type="checkbox"/> 聖和リブラ																		
(1) 所属・学部等・学年 *人数も必ず記入 校種 <input type="checkbox"/> 大学 (人) <input type="checkbox"/> 大学院 (人) <input type="checkbox"/> 短期大学 (人) <input type="checkbox"/> 高校 (人) <input type="checkbox"/> 中学校 (人) <input type="checkbox"/> 小学校 (人) <input type="checkbox"/> 幼稚園 (人) <input type="checkbox"/> インター (人) 学部等 <input type="checkbox"/> 神 (人) <input type="checkbox"/> 文 (人) <input type="checkbox"/> 社 (人) <input type="checkbox"/> 法 (人) <input type="checkbox"/> 経 (人) <input type="checkbox"/> 商 (人) <input type="checkbox"/> 人 (人) <input type="checkbox"/> 国 (人) <input type="checkbox"/> 教 (人) <input type="checkbox"/> 総 (人) <input type="checkbox"/> 理 (人) <input type="checkbox"/> 言 語 (人) <input type="checkbox"/> 司 法 (人) <input type="checkbox"/> 経 営 戦 略 (人) 学年 <input type="checkbox"/> 1年 (人) <input type="checkbox"/> 2年 (人) <input type="checkbox"/> 3年 (人) <input type="checkbox"/> 4年 (人) <input type="checkbox"/> M1 (人) <input type="checkbox"/> M2 (人) <input type="checkbox"/> D1 (人) <input type="checkbox"/> D2 (人) <input type="checkbox"/> D3 (人) <input type="checkbox"/> その他 (人)																			
(2) 正課・正課外 <input type="checkbox"/> 正課 <input type="checkbox"/> 正課外																			
(3) 人数 グループ番号【 】 * 2人以上で利用している場合は、必ずグループ番号を記入してください。 <input type="checkbox"/> 1人で利用 <input type="checkbox"/> 2人で利用 <input type="checkbox"/> 3人で利用 <input type="checkbox"/> 4人で利用 <input type="checkbox"/> 5人で利用 <input type="checkbox"/> 6人以上で利用																			
(4) 形態 * (3)の質問で「1人で利用」以外の人が対象 <input type="checkbox"/> 皆で別々の内容に取り組んでいる <input type="checkbox"/> 皆で共通の内容に取り組んでいる <input type="checkbox"/> 一部の人が共通の内容に取り組んでいる (人)																			
(5) 取り組んでいる内容 * 観察した際のコモンズ利用時間内で最も時間を割いていることを1つだけ記入 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">授業名 * 正式名称</th> <th style="width: 45%;">授業実施時間</th> <th style="width: 40%;">取り組みの方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">取り組んでいる内容 * 「課題」や「宿題」ではなく、レポート作成など具体的な内容を書く</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">曜日</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">曜日</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">曜日</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">曜日</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		授業名 * 正式名称	授業実施時間	取り組みの方法		取り組んでいる内容 * 「課題」や「宿題」ではなく、レポート作成など具体的な内容を書く			曜日			曜日			曜日			曜日	
授業名 * 正式名称	授業実施時間	取り組みの方法																	
	取り組んでいる内容 * 「課題」や「宿題」ではなく、レポート作成など具体的な内容を書く																		
	曜日																		
	曜日																		
	曜日																		
	曜日																		
(6) 利用機材 <input type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 貸 PC (台) <input type="checkbox"/> 貸 タブレット (台) <input type="checkbox"/> プロジェクター (台) <input type="checkbox"/> ホワイトボード (台) <input type="checkbox"/> 持ち込みツール (*ツールと台数を記入)																			